

# 協和町郷土カルタ

制作：協和町公民館

昭和59年3月

協力：協和町仙人大学・協和町立各小学校



[ふるさと学習のページへ](#)

[TOPページへ](#)



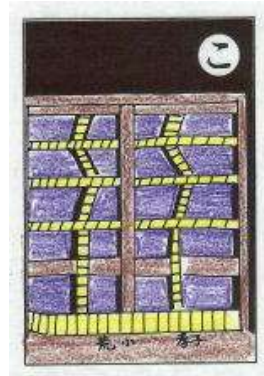
あ 雨乞いの  
願い叶えた  
玉の明神  
(牛込)

い 岩谷洞  
先住民の住居跡  
(船岡)

う うばすて沢  
伝説かなし  
諏訪山の奥  
(船岡)

え 得体の知れない  
梵字の板碑  
(峰古川)

お 御学館山  
梅津家老の  
隠せい地  
(船岡)



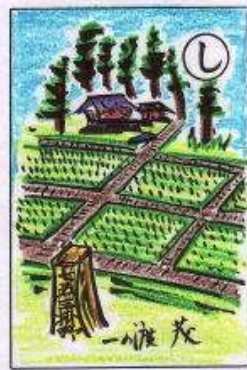
か 唐松さん  
女一代守り神  
(坂)

き 黄桜咲く  
唐松台の  
八幡神社  
(上淀川)

く 草分けて  
跡をたずねる  
淀川城趾  
(中淀川)

け 県内の珍木  
ビンダレの  
しだれ栗  
(船岡)

こ 坑道が  
縦横むじん  
荒川鉦山  
(牛込)



④ さ  
桜小路の長兵衛  
その名知られた  
枝垂桜  
(船岡)

④ し  
七五三掛野  
秋田美林の  
苗作る  
(船岡)

④ す  
諏訪神社  
中波川の  
守り神  
(中波川)

④ せ  
先人の  
遺徳は高し  
小種干拓  
(小種)

④ そ  
底知れぬ  
穴切ふちは  
カツパぶち  
(鎌吉川)



④ た  
田村麻呂  
草入り分けし  
月出野原  
(上波川)

④ ち  
長泉寺  
羅漢並んで  
人さどす  
(船岡)

④ つ  
杖ついて  
そのまま根付く  
逆さの木  
(中波川)

④ て  
天保の  
飢饉にたえた  
甚之丞  
(船岡)

④ と  
戸沢氏の  
出城のひとつ  
荒川城  
(荒川)



④ な  
合月松

④ に  
加藤

④ ぬ  
加藤

④ ね  
荒小

④ の  
荒小

の

農民の  
意地を示した  
稲沢一揆

(稲沢)



ね

ねり歩く  
上淀川の  
鹿島行列

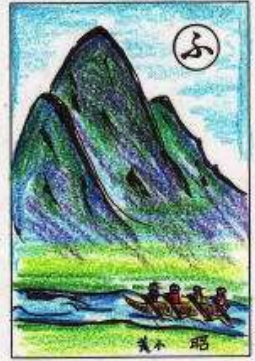
(上淀川)



ぬ

主が棲みつく  
羽根川堤

(小穂)



に

荷物の発着  
中村港

(峰吉川)



な

なるほどうまい  
船沢の根花餅

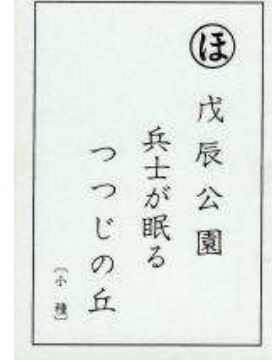
(船沢)



ほ

戊辰公園  
兵士が眠る  
つつじの丘

(小穂)



へ

平安祈る  
高寺観音

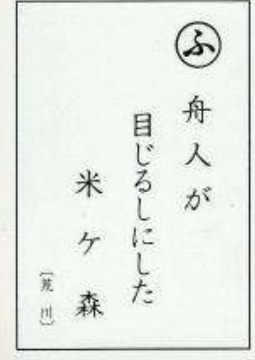
(峰吉川)



ふ

舟人が  
目じるしにした  
米ヶ森

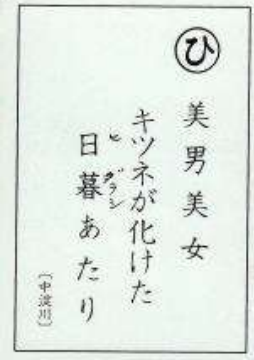
(荒川)



ひ

美男美女  
キツネが化けた  
日暮あたり

(中淀川)



は

畑鉦山  
金の牛掘り  
陥没す

(荒川・峰吉川)



も

もののふが  
武術みがいた  
馬場の館

(下淀川)



め

明治天皇  
四方見わたす  
御野立所

(峰吉川)



む

村々の  
沢田開いた  
板谷五騎

(荒川)



み

宮田又  
戦中戦後の  
花形鉦山

(荒川)



ま

松林  
すがしき  
小種神明社

(小穂)





や  
薬師堂  
厄除け難除け  
病除け  
〔荒川〕



ゆ  
有名な  
カニ問答の  
太寧寺  
〔中流川〕



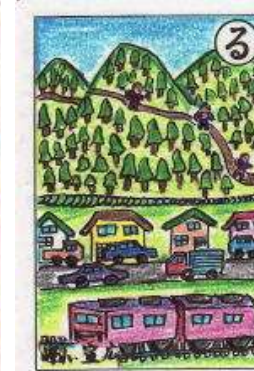
よ  
義家の  
カブトを祀る  
八幡神社  
〔下流川〕



ら  
らん冠  
船頭峰の峠越え  
〔牛次・船頭〕



り  
理想は高し  
分村運動  
〔浮吉川〕



る  
ルート変更  
羽州街道  
近くなる  
〔浮吉川〕



れ  
レンガ場の  
ある矢塚野は  
半仙団地  
〔浮吉川〕



ろ  
露月の高弟  
加藤純江  
〔小橋〕



わ



を



ゑ



を

わ

わたつみの  
海神まこと祀まつる

船玉神社

(船玉)

る

井戸水よりも

おいしい

如露清水

(船玉)

る

笑顔で集あつう

唐松講中

(境)

を

をりをりに  
句くにも詠よまれた

白系の滝

(峰古川)



京

京までの  
旅の宿場は

境村

(境)